

議会広報

かみいち

vol.12



全国植樹祭の上市会場（丸山総合公園）

目次

6月定例会の要点	……P2
常任委員会報告	……P3
一般質問	…… P4～12
視察報告	……P13

追跡レポート・紹介	……P14
視点	……P15
町民の声・お知らせ	……P16



発行
上市町議会 2017年7月

編集
議会広報特別委員会

KAMIICHI

平成29年6月定例会の 審議の要点

平成29年度
一般会計補正予算
2457万円を増額し

総額**99億104万円**

平成29年6月定例会は、6月13日から21日までの9日間にわたって開かれました。
昨年度の補正予算などに関わる専決処分の承認、今年度の補正予算、住宅に関する条例の一部改正、消防ポンプ自動車の購入、以上の10議案について審議を行い、議案はすべて原案のとおり可決または承認しました。追加議案の農業委員選任に同意。意見書1件を採択。
議会広報特別委員会の委員3名が交替し、互選で正副委員長が新たに決まりました。
本定例会では議員9名が、町政一般に対する質問（一般質問）を行いました。

専決処分の承認

各事業の精算に伴う補正予算や、国の法令改正に連動して必要となる条例の改正を、事後的に承認する手続き。（議案第34条から第38条まで）

一般会計の補正予算

子育て世代への魅力発信事業、不育症の治療費に対する助成金、林道黒川線の防護柵整備、上市中央小学校の校舎の雨漏り修繕工事など。（議案第39号）

国民健康保険事業特別会計の補正予算

納付金関係の補正。（議案第40号）

病院事業会計の補正予算

病院経営支援システムの購入費など。（議案第41号）

特定公共賃貸住宅条例の改正

家賃の減額を継続するための改正。（議案第42号）

消防ポンプ自動車の購入

上市町消防団の柿沢分団に属する消防ポンプ自動車の更新整備。（議案第43号）

農業委員の選任

新制度に基づく農業委員12名の選任に同意しました。（議案第44号）

意見書の採択

「精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書」を採択しました。



補正予算で修繕を行う上市中央小学校



設置から15年以上が経過した防護柵
(林道黒川線の穴の谷駐車場付近)

委員会の審議

総務教育 常任委員会

奈良文化財研究所は、黒川遺跡は稀な遺跡と評価

上市図書館の蔵書破損事案を現地確認



状況確認する委員

消防署

平成9年度導入の消防ポンプ車（1万5千6000km走行）更新。

総務課

研修のメインは接遇。

企画課

有楽町交通会館にある全国のブースに、県内他町のポスターが貼つてある。当町は、移住フェアに職員が参加してPRした。

財務課

ふるさと応援基金は、昨年より約100件（150万円程度）増。

役場西側の浄化槽は、不衛生にて解体。

法律改正に伴い、税条例を改正。

教育委員会事務局

奈良文化財研究所の方が先日黒川遺跡を視察して、歴史的に稀な遺跡で価値があると評価。

自主文化事業費70万円減額補正。

白萩東部公民館は、地

区が必要とする間は存続する。三日市コミュニティセンターは、管理方法を含め、方向性を決めた

い。

ソフトテニスのスポーツエキスパート1人追加。

ヘルメット購入の根拠は、

国際情勢を踏まえ防災の観点から整備するもの。

報告等

上市図書館での蔵書の破損事案について、現地確認。

【審議の結果】

議案については全会一致で可決。所管事務事項の継続審査の件は了承。

産業厚生 常任委員会

不妊症の検査と治療に助成

福祉課

不妊症の検査と治療費用の一部を助成

不妊症（ふいくしょう）は、妊娠しても2回以上流産や死産を繰り返してしまふ場合をいうが、適切な検査と治療をすれば出産にいたることがわかってきた。不妊症の検査と治療費用の一部を1年度当たり30万円を上限に助成する。

町民課

クラスはクリーンセンターで処理

町民課職員が回収し、クリーンセンターでごみとして処理している。イノシシは1頭丸ごとでは燃やさないのごみとしては出せない。

産業課

中能登町の祭りに寺崎美幸さんを派遣

7月29日に開催される中能登町の祭りに参加要請があった。今回はカヌーの全国大会の日程の関係で、寺崎美幸さんをお願いした。

報告事項…上市町まちなか交流プラザ駐車場の側溝整備工事を進める。

建設課

音杉保育園前の空き家の解体後に町は関与せず

音杉保育園前の空き家の解体後の跡地利用は、町は関与していない。報告事項…アスベストについては調査の見積もりを行っている。

かみいち総合病院

メデイカルコードシステムで算定率を向上メデイカルコードシステム

の概要、費用対効果は、経営支援システムでレポートやDPC（診断群分類包括評価）のデータをサーバに取り込み指導料や加算が取れていないものが見えてくる。それを現場に下して算定率を上げる。他院との比較、立ち位置もデータで見ることが出来る。

【審査の結果】 委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。

一般質問

都会から若者を呼び込み地域に活路を



議員 憲夫 確井

移住者が希望する住居

空家	67.3%
新築一戸建	13.3%
菜園付き住宅	4.5%
公営住宅	6.3%

移住者が希望する就労形態

農林業	24.2%
自営	29.9%
企業などへの就労	63.4%

(重複回答含む)
以上は町村議長会資料から

具体的には、平成25年度は、新相ノ木駅停留所、パル停留所を新設し交通機関や商業施設との接続を図り利便性を高めた。また、白萩線の上極楽寺から保健福祉総合センターへ向かう経路の一部を見直し、白萩湯上野、丸山総合公園、須山等を経由する運行経路に変更した。

平成26、27年度には、小型車両導入やスクールバ

バス利用者調	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
柿沢大岩線	4,867	11,353	11,966	10,816	8,281人
白萩線	2,727	3,057	3,582	3,252	3,303人
南加積線	5,140	6,263	5,172	4,716	5,022人
宮川線	5,658	5,553	2,821	5,291	5,208人
相ノ木線	7,717	9,535	7,912	8,361	7,516人
弓庄線	18,301	19,529	17,899	15,537	12,973人

議員 子供の減少傾向は続いている。農家をはじめとした小規模事業所も減少一途にある。そうした方で空き家が増え、放棄田が増え、イノシシなど野性動物が闊歩している。

どこに光を求めるか

劔岳と日本海が見渡せ、豊かな緑と水に恵まれた上市町は都会の若者を呼び込む条件が充分ある。上市町に移住しようとする場合に最初にいきあたるのが住まいだ。

議員 都会からの移住者促進のために二戸建住宅

の建設を官民共同で町長 住宅団地を建設するには学校や買い物物の条件も考慮しなければならぬ。南加積地区は、山も海も展望できる環境にあり、家庭菜園も可能。町が先行して住宅団地を進めるとリスクが大きいので民間先行で進めば応援する。

車がなくても病院や買い物に行ける町にコミユニティバスを利用出来ない地域の改善を

議員 車も自転車にも乗れない住民が年々増えている。頼りたいのがコミ

ユニティバスだが、バス停が遠くていけない。午後1時に乗ると6時半まで家に帰れないなど、改善の要望が増大している。この件に対しては度々議会で論議されており、前向きな答弁がされているが改善の状況と今後の計画について伺う。

町長 通勤や通学者、高齢者の方々に配慮し、小型車両の導入や運行経路の見直し等、限られた財源の中で合理的な運行を行いつつ地域からの要望等を踏まえ、見直しや拡充を行っている。

スの更新を行い、平成28年度は、宮川線にカメラ停留所の新設、弓庄線の運行時刻改正、白萩線は1便の一部を回送から運行区間へと変更している。今年度4月からは、大岩線に大松新停留所、相ノ木線に放士ヶ瀬停留所を新設するなどの改善を行っており、今後とも利便性の向上と経営バランスを考えた町営バスの運行に努める。

|| 上市町人口ビジョン ||
平成27年10月 ||
選ばれる住環境づくり

・コミユニティバスの利用促進、運行路線・ダイヤの見直し

・本町に若者が定住するためには若者のニーズに沿った住宅の確保と交通網の充実が求められる。

・優良農地の保全との調和に留意しながら、こうした住宅ニーズに添えていくことが求められる。

ことが明記されている。



田中 義 則 議員

就学援助金 (入学準備金) 働き方改革 (時間外勤務)

就学援助金

議員 入学準備金、入学前に支給できないか

教育長 就学援助は、経済的理由で就学困難な児童生徒を対象に小中学校の学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品費、修学旅行費、校外活動参加費、学校給食費、体育実技用具費を援助する制度。

平成29年度より新入学児童生徒学用品費等の支給に、国の要保護児童生徒援助費補助金の単価が、小学生20,470円から40,600円に、中学生23,550円から47,400円へ改正、上市町も必要保護世帯の児童生徒に、要保護と同額に引き上げる方向で検討している。就学援助費の支給は、原則年3回(1学期分は8月末、2学期分は翌年の1月末、3学期分は翌年の4月末)に分けて支給している。

就学予定者は、補助事業の対象となる事業は、新入学児童生徒学用品費等に限り、小学校、中学校入学予定者の準保護世帯への入学準備金の支給に、課題などを整理し次第、導入を進めて参りたい。

総務課長 平成28年度に時間外勤務が月60時間を超えた職員11人、延べ15人、そのうち、80時間を超えた職員6人、延べ9人、100時間を超えた職員5人、延べ6人。

特に平成28年度は選挙事務、7月参議院選挙、10月県知事選挙、選挙事

働き方改革

議員 長時間労働、時間外勤務の実態は



務を除くと、月60時間を超える職員は6人、延べ人数も同数、80時間を超える職員2人、延べ人数も同数、100時間を超える職員はいない。

総合病院事務局長 平成28年度時間外労働時間が月60時間以上の職員、医師4人、看護師及び事務職員各0人、延べ26人。このうち、月80時間から100時間までの医師は2人、延べ7人、月100時間を超えた医師は2人、延べ4人。

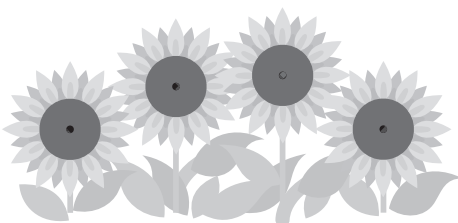


総合病院事務局長 夜間勤務の状況は、救急時間外診療で午後5時15分から翌朝午前8時30分まで、医師1人と看護師2人が当直勤務。

病棟看護師は、午前8時30分から午後5時15分まで「昼勤務」、午後4時30分から午前1時15分まで「準夜勤務」、午前0時30分から午前9時15分まで「深夜勤務」の三交替、一般病棟は準夜勤務及び深夜勤務各3人、精神病棟は準夜勤務及び深夜勤務各2人、回復期リハビリテーション病棟は介護福祉士を含め準夜勤務及び深夜勤務各3人が夜間勤務している。

教育長 本県の小中学校教員の勤務実態は、県の小中学校長会が、毎年ある特定の1週間の時間外勤務状況を調査している。上市町校長会も同様の調査を行って、平成28年度調査は、教員1人当たりの時間外勤務時間1週間の平均は、1校の小学校在24時間、多くの小学校在10時間台、小学校全体の平均で週約15時間、月に換算すると60時間の時間外勤務。中学校は今年度4月から独自に調査を実施。特定の1週間の

調査に、調査回答者の平均週21・8時間。1か月の時間外勤務は、調査回答者のみ4月で60時間以上80時間未満4名、80時間以上6名、5月で60時間以上80時間未満1名、80時間以上4名となっている。



「まま子滝」を観光名所に



伊東 俊 毅 議員



まま子滝（釈泉寺）

議員 まま子滝の概要と整備状況は。

産業課長 まま子滝は、釈泉寺地内にある落差16メートルの滝で近くには不動尊があり、母子をめぐる物語や行者の修行の場として彫られた祠を持つ、貴重な町自然観光資源の一つである。

以前は、急な斜面があり危険な場所と近づけ

ず、埋もれていた地域の宝を、観光スポットとして発信するため、釈泉寺地区及び白萩西部自治振興会からの要望を受け、町が滝までの遊歩道を整備した。

議員 観光的にまま子滝、不動尊、御詠歌を後世にどのように残すか。

産業課長 町では、ホームページで案内マップや

「ご詠歌」を掲載したほか、観光協会が発行している観光マップの増刷の際に新たに盛り込むことや、ガイドグループで現地研修会を行い、観光客にガイドできる体制を整える準備を進めている。また、10月に実施する、観光の魅力を伝えるイベント「フォトログイニング」で「フォトログイニング」大会で

多くの参加者に知っていただけるようにチェックポイントに活用することの検討、更には、地元白萩西部小学校からは、地域を調べる学習の中で、「まま子滝」を取り入れ、後世に伝えていきたい。

今後、地域関係者と連携しながら、地域資源である「まま子滝」の魅力を発信していくと共に、訪れる人の満足を高められるよう、雑木伐採などの管理を実施し、「まま子滝」を活用した観光振興に取り組む。





酒井恒雄 議員

(地震ミサイル)災害の観点から 身を守る為に全小中学校にヘルメット導入



抑制剤散布後 (南加積小)



抑制剤散布前 (南加積小)

議員 地震、ミサイル落下を想定して身を守る為に小、中学校にヘルメット配備出来ないか。
教育長 防災の観点から災害の避難時に身を守るヘルメット導入、保管場所を学校側と協議し今年度に全児童生徒への導入を目指す。

議員 全小、中学校のグラウンド改修工事費用、雑草保全対策について。
教育長 グラウンドを盛土及び勾配修正に表面排水機能を改善する工法で実施検討。費用として一校当たり、500万円か

ら800万円を見込んでいます。改修までのグラウンドの雑草対策については、今年度は当初予算内で対応可能で各学校の状況を見ながら抑制剤の散布も含め雑草対策を実施。

議員 イノシシ等の処分について、埋設から広域圏クリーンセンター焼却出来ないか。

町民課長 増え続けるイノシシ等の捕獲後の埋設処理は、有害鳥獣捕獲に携わる方々の負担が増している事を勘案し、大型動物の負担軽減の為に他の自治体の状況を研究して参りたい。まずはクリーンセンター周囲の焼却の同意後、協議会等手順を組んで進める。

議員 人口増対策、南加積、白萩大岩地区の空き屋三軒程リフォームし地域おこし協力隊の受け入れ体制の確立出来ないか。

企画課長 町が空き家など取得又賃借設備を整えて住居するには設備改修費が大掛かりになり賃借となった場合に個人資産価値を上げる事など懸念され、多々民間事業者などが主体的となり設備改修を行う場合に依りて支援、検討して参りたい。

議員 定住移住促進のための情報発信を強化出来ないか。

企画課長 上市町の玄関口である観光案内所については町の情報発信の拠点で有りそこに移住定住の窓口機能も付加させることはより一層訪問客が増えワンストップで観光から移住定住に関する相

談メリットがあり今後実施に向けて検討する。



リフォームした家 (広野地区)

- その他の質問
- ・あさひの郷公園隣接地ドッグラン整備、手押しポンプ設置
 - ・機能別消防団
 - ・防災重点ため池改修工事

一般質問

人口増対策・空き家対策の充実を



伏黒日出松 議員

人口増対策の充実

議員 出産祝金、保育料、医療費助成などの見直しをしては。

福祉課長 子育て世帯への支援は、引き続き現行の支給形態として着実に進めていく。

空き家対策は

議員 8戸の特定空き家の解体と見回りは。

建設課長 町では空き家に関するパンフレットを作成し配布した。空き家等について、町内会等の地域による見回り等の協力をお願いしている。

また、町の空き家等対策の推進に関する条例においても他に危害を及ぼす場合は、町長が最小限の処置をとることができるので適切に対処する。

空き家の解体費用の補助制度は、周辺への危険度が高い空き家を解体した場合、50万円を限度に

解体費用の2分の1を補助する。

7月には空き家の相談会の開催を計画しており、空き家対策を進めたい。

アスベスト被害は

議員 飛散する恐れのあるアスベストを使う施設の現状と、今後の方策を伺う。

建設課長 アスベストを含有建材が使用された可能性のある施設が14か所あり、うち10か所で飛散防止処置やアスベスト含有調査をしていない。今後は使用状況を調査し、法律に基づいて適正に処理する。



介護事業の厳しさ

議員 介護施設の増加と、介護報酬の引き下げによる経営状況は。

福祉課長 職員の身体的・精神的な負担が大きく、勤務形態も不規則で、賃金水準も低いことから、離職率も高く人材の確保と定着に苦労している。

前回の介護報酬の引き下げが、事業所の運営に影響を落としていることは否めないが、各県・関係団体から国に対して次回改定で介護報酬の引き上げを提案している。町としても状況を把握し、介護事業者に速やかに情報提供していく。

カラス対策の充実

議員 カラスが生ごみを撒き散らかしているが、駆除計画はどのようなになっているのか。

産業課長 農作物被害防止のため町鳥獣被害防止

計画を作成し、その中の対象鳥獣としてカラスを位置づけており、銃による駆除を実施している。

しかし、街中では銃刀法によるカラスの駆除はできないため、カラスを寄せ付けないよう地域住民による理解と協力が必要不可欠である。

また、路上にネット等で包囲しているゴミステーションが62箇所あり、減らしていただくことがカラスを寄せつけない環境管理ができると考える。

上市川河川敷の活用

議員 上市川河川敷の右岸三杉公園の南側芝生広場の活用は。

産業課長 河川法に基づく芝生広場の活用は、将来的な維持管理も含めて、現在のところ考えていない。





宇嶋 洋子 議員

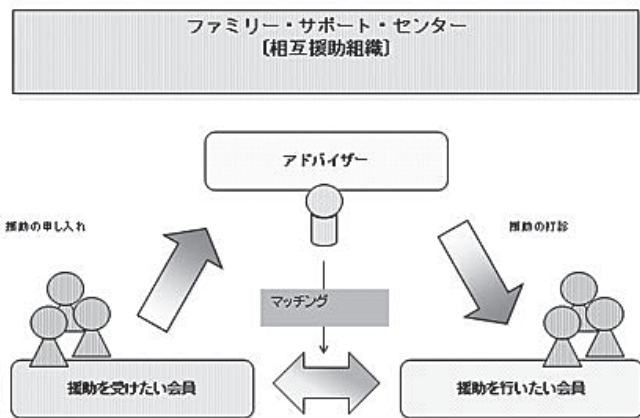
町に移住者を増やす・子育て支援・訪日外国人誘客に向けて

議員 町の病後児保育の現状は。 **福祉課長** 現在、病児保育事業は、町内3施設で実施している。内、1施設において、病後の回復期に集団生活が困難な児童について小学校3年生までを対象として専用施設で保育を行う。病後児保育対応型事業を行っており、昨年度実績で延べ110人の利用があった。

議員 「お迎え型」病児保育は。 **福祉課長** 体調不良児対応型事業を本年度3施設で実施し、病児保育事業については、社会情勢などにより、保護者ニーズの高い事業と認識している。

保護者の勤務等の都合により、病気の際に家族での保育が困難な場合は、病児保育事業、保育に係る各種施策の充実を図っていく。

議員 子育て援助活動支援事業「ファミリーサポートセンター事業」は。 **福祉課長** ご家族やご親戚と遠く離れて暮らしている子育て世帯を応援するには心強い事業であるが、アドバイザーなどの人材確保や調整機関の設置や会員登録、援助を提案する会員に対する研修など多くの時間がかかることから、関係機関への働きかけを含め、事業を行えるか、検討する。



出典：厚生労働省ホームページ

議員 インバウンド「訪日外国人」首都圏からの誘客増に向けての事業は。 **産業課長** 今年度、全商工会連合会の支援事業として、上市町商工会が、「北アルプス劔岳の里トラベラー誘客事業」では、町や観光協会などが企画し、具体的には、外国人向けでは、「文化、歴史」の体験を主眼に大岩地内で、滝行や写仏体験を盛り込んだ

モデルコース、国内観光客向けでは、劔岳を中心とする自然体験を主眼に森林セラピーロードやトレッキングコースなどのモデルコースを選定し、どちらもモニターツアーによる体験者ヒアリングを行い、長期滞在に向けたニーズ調査を実施する予定。

上市駅構内の上市町観光案内所が、明るい雰囲気で見やすい活用しやすい場となるよう外観をリニューアルし、利用しやすい環境づくりを行った。

観光案内所では、英語版の観光案内冊子を用意し、外国からの来町者に案内する体制を整えたほか、観光協会のホームページを日本語以外の4カ国語に対応したものにリニューアルを図ってゆく。

上市駅構内の上市町観光案内所が、明るい雰囲気で見やすい活用しやすい場となるよう外観をリニューアルし、利用しやすい環境づくりを行った。



観光パンフレット



上市町観光案内所

一般質問

上市町の「まちづくり」は 学生・若者と共に



成川 友仁 議員

学生とまちづくり

上市に住み上市に通う若者と共に活動を
仕組みづくりを進める

議員 上市町に住み、ご当地の中学・高校・専門学校に通う生徒や、富山大学など近隣の教育機関に通う若者がいる。上市町で暮らす学生が、在学中に学んだ成果を生かしてわが町のまちづくりに関われば望ましい。
企画課長 学生や若者の意見をまちづくりに反映させ、未来のまちづくりを進めることは、大変有意義と考える。

議員 上市町に通う若者、例えば電車で上市高校に通う生徒たちが、わが町のまちづくりに関わる可能性は。

また近頃は大学の地域連携の一環で、ゼミナールの学生が定期的に訪れる取り組みが目される。高校生や大学生が、

商店街や地元企業とコラボレーションを行う事例もしばしば伺う。

企画課長 町の公共施設において、活性化イベントやボランティア活動に上市高校生が参加しているなど、個別事業のつながりが出来ている。
とはいえ、まちづくりなど政策形成の分野では、関わりが薄い現状がある。

今後、学生や若者がまちづくりに関わり、意見を反映できる仕組みづくりについて調査研究を進める。



学生が活動する施設例(滑川のTRIO)

短期滞在する大学生の提案はいかに
継続性や住民の関わり合いが成否の鍵

議員 昨年、地域創生インターンシップ事業として、全国各地の大学生等が数日間上市町に滞在して、地域活性化につながる施策を提案した。
昨年の反省点を踏まえ、今年度の同事業を一層実り多くするための対策は。

企画課長 学生と町とが互いに効果を得られる事業としたい。提案の熟度を高めていくため、継続性や住民との関わり合いという観点から検討中。
新たな施策として、大学との連携も模索している。



地域創生インターンシップの発表会



公募提案型政策コンテストの様子

審議会等に若者を

若者枠で意見の反映を地域ぐるみで醸成

議員 地元の若者が政策提案を競うコンテストで、地方自治体の審議会などにおいて若者枠を創設する提案が注目を集めた。このような仕組みの可能性は。
なお若者枠といえば従来は、商工業や農業に従事する若手が所属する地域経済団体を通じて意見を表明する形態が多かった。

近年は一口に若者といっても、働き方や地域活動のあり方は多様化。様々な背景をもつ若者の考えを汲み取る工夫が求められる。

企画課長 他市町村における事例を参考にしつつ、若者が参加しやすい領域を地域ぐるみで醸成したい。



バス運行経路変更による効果は 無花粉スギ栽培受入れで所得増を



パークゴルフを楽しむ人達（丸山総合公園芝生広場）

丸山PPGの土日解放を
議員 丸山総合公園芝生広場で、パークゴルフ大会等の土日開催は出来ないか。
建設課長 芝生広場として利用するお子様連れ家族、ドクターヘリ離発着に支障のない範囲で、平日、芝生広場の一部が利用可能となっている。

本来の利活用促進、機能保全の面からも、土日利用は従来通り遠慮してほしい。
議員 年に何度かの大きな大会だけ、事前許可申請等、一定の条件付きでも土日利用を検討できないか。
建設課長 例年の利用状況を見れば、土日には複数の競技会等が開催されている。また、このよう

な競技大会関係者の休息場所としても利用されている。土日利用については、別途協議させてほしい。

コミュニティバス

議員 今年4月より、新たな停留所設置による経路変更したが、その効果は出ているか。

福祉課長 今年度変更した大岩線、相ノ木線とも利用者の増大には至っていないが、新設停留所においては、地元高齢者の利用があると聞く。

近年の経路変更や停留所新設などの見直しで、利用者の増加となった例として新相ノ木駅開業に伴う停留所を新設した平成25年度からの利用者は、平成24年度と28年

度を比較して1890人（+80%）増、白萩線で1489人（+82%）増となっている。今後とも、通勤や通学者、高齢者に配慮し、限られた財源の中で合理的運行を行うにつ、移動手段の確保に努めたい。

議員 利用者の多くは高齢者である。もう少しターゲットを絞って、今後とも運行経路やダイヤの改善を検討願いたい。



宮川線（森尻地区内）

森の輝き生産で増収を

議員 無花粉スギ「立山森の輝き」の栽培環境を整え、生産受け入れ出来ないか。可能なら休耕田有効活用や所得アップにも期待がもてる。

産業課長 平成24年度から「立山 森の輝き」の普及が始まり、県森林研究所では、水田で大量生産する方法を考案した。昨年5月から立山町で開始している水耕栽培は、試験段階であり、確実な育苗方法の確立には3年を要し、実際に植栽した苗木の生育状況確認が必要とされる為、今後、県の動向に注視ながら情報提供され次第、農業者等へ情報発信していきたい。

一般質問

働き方改革で時間外勤務の削減を 利用しやすい快適な施設づくり



酒井 健之 議員

働き改革をどう進めていくのか

議員 超過勤務の実態はどうなっているのか。

総務課長 平成27年度において4・9時間、平成28年度では、7・8時間であり、平成28年度において、参議院選挙、県知事選挙の選挙事務で多少増加しているが、全国平均を下回っている現状である。

議員 働き方改革をどのように進めようとしているのか。

総務課長 毎週水曜のノ一残業デーを金曜にも拡大し、定時退庁の徹底、年次休暇の取得を促進し、職員が仕事だけでなく家庭や地域活動、趣味や自己啓発の時間を大切にしながらやりがいや充実感を感じながらいきいきと働くことができるよう職員のワーク・ライフ・バランスの推進を5月1日付けで各課長に通知したところである。職員の

意見を取り入れながら推進する。

議員 再任用制度の運用はどのようにしているか。

総務課長 公的年金の支給開始が段階的に引き上げられたことに伴い、60歳で定年退職する職員が無収入期間が発生しないように雇用と年金の接続を図るために作られた制度である。定年退職を迎える職員を対象に、事前に本人に退職後の任用の意向確認を行い、再任用、嘱託、臨時的な任用を行っている。年次有給休暇は、法令に基づき付与している。

議員 業務量に見合う人員増の確保をどのように考えているのか。

町長 平成27年度末に策定した第4次定員適正化計画において、従来、推進している保育所等の民営化の推進で、保育士及び労務職の退職不補充により、定員は減少する計画になっており、その他の定員計画は現状を維持

することになっている。

町民へのやさしい施設利用をどう進めるか。

議員 役場や公民館、体育館などの駐輪場や駐車場の設置をどのようにしていくのか。

財務課長 議員ご指摘の通り役場正面入り口から離れたところに設置されておおり、

自転車で来庁された方々の大半が、駐輪場を利用せず、正面入り口付近に駐輪している状況を確認していることから、議員提案の正面入り口付近に駐輪場の設



役場前駐輪場

置を速やかに対応する。

教育委員会事務局長 12

の公民館及び4つの体育施設のうち、駐輪場がない施設は、山加積、白萩南部、白萩東部の3公民館で、体育施設は、全ての施設で駐輪場を有しており、駐車場は、全ての施設にあり、身障者専用スペースの有無があるが利用者の声を聴きながら、措置を講じたい。

議員 民間施設（コンビニ）の活用を検討してはどうか。

企画課長 観光、イベント情報や各種制度等行政情報の周知を図るため、ポスターの掲示やパンフレットの設置にご協力をお願いするなど、情報発信の拠点を増やすことは大変有意義であり、事業主様の意向も含め、検討していきたい。



視察報告

沖繩県行政視察報告（4月18日～21日）

宮古島

雪塩製塩所と エタノール製造設備を見学

平成29年度の上市町議会行政視察研修（沖縄県）は、4月18日（火）～21日（金）の3泊4日で行われ、

第1日目は宮古島市を訪れ、市役所視察でエコアイランド宮古島「環境モデル都市宮古島」の取り組みについて伺った。企画政策部エコアイランド推進課より、宮古島市の概要として、東京から2000km、那覇から300kmで台湾との中間に位置する島で四方を海に囲まれた隆起珊瑚からなる平坦な島で、大きな河川等はなく、台風や干ばつを受けやすい厳しい自然環境にある。産業は農林水産業と観光業であり、農業はさとうきびと葉タバコは国内屈指の生産高を誇る。水産業はカツオ、マグロ、タカサゴなどの魚類漁に加え、クルマエビやモズク、海ぶどうの養殖が盛んに行われている。観光は、全日本トライアスロン宮古島大会の開催、ロックフェスティバルなど、自然を生かしたイベントが数多く開

催され、28年度70万人、クルーズ船で12万5千人もの観光客が訪れる。過去に干ばつなどによる大打撃を受けたことから、水無し農業からの脱却を目指し、地下ダムを建設し、水源開発を実施した。

基本的な課題として、自然環境と共生しつつ、地域資源を活用した低炭素社会の構築に向けて取り組みのために、いつまでも住み続けられる「エコアイランド宮古島宣言」を行い、「環境モデル都市」の認定を受けて、二酸化炭素の削減目標を定めている。など多くの取り組みを聞き、感心した。

第2日目は宮古島市の雪塩製塩所や上野資源リサイクルセンター、エタノール製造設備の見学を行った。



宮古島のエタノール製造設備

南風原町（はえばるちよう） 議会の取り組みを学ぶ

沖縄の県都那覇市に隣接した南風原町は、県内で4番目に小さな面積であるがインターチェンジを3カ所持ち、交通の要所・ベッドタウンとして人口が右肩上がりの町であり、琉球かすりや完熟カボチャの産地として知られている町である。

今回の視察目的は、議会基本条例・開かれた議会の取り組みについて学ぶ事であった。

宮城清政議長挨拶の後、知念富信副議長同席の下、一連の取り組み（①議会議中継の強化、②議員賛否の公表、③委員会の傍聴を原則公開とした、④議会広報の強化、⑤議会報告会の実施、⑥傍聴者へ議案の写しなどを貸し出す）について説明を受けた。

具体的には①平成25年12月よりインターネットによる議会議中継開始。④昭和41年12月創刊、平成20年8月に常任委員会へ格上げ、平成28年2月に沖縄県町村議会議長会広報コンクール優秀賞及び写真賞受賞（平成26年2月号1183号）、⑤報告会を通して町民の声を反映。「参加者意見で特に重要なものは町長へ文書で報告、対応を求める。」と規定などの説明の後、平成22年9月28日の

議員改選から平成25年12月25日の南風原町議会基本条例可決までの軌跡を話して頂いた。

その後の意見交換で、報告会は町民が多く集まっている所へ出向いての開催や、議会だよりは全戸配布に加え公共施設等へも配布する事など、33項目の中でもすぐに出来る事は即刻実行してきたとの事。また、政務活動費は月1万5000円、一般質問は質問席（当局と対面式）で、答弁は町長以外は演台ではなく自席で行う事によって時短を図る、基本は一問一答である事や反問権も執行した例もある事などを話し合った。

その他、議場での大型モニター設置（質問者と答弁者の画像が本人に見えるように配置）も良いアイデアだと感じた。

今回の視察は、上市町議会の課題でもある議会基本条例制定に向けて、一定の参考になったものと感じている。



対面モニター

議会の取り組み

政務活動費の収支報告

上市町議会では平成26年度から、条例に基づき政務活動費が交付されています。

初年度分から収支内訳のインターネット公開を行い、上市町ホームページの「上市町議会」コーナーにて掲載しています。

さらに平成28年度分からは、新たな取り組みとして、調査・研究活動の具体的内容を示す収支報告書や領収書もあわせてインターネットで公開することを始めました。

追跡レポート

その後実った議会での 提案・要望

移住・定住に役立つ地域情報の提供を

平成28年3月議会質問

その後

20ページあまりの小冊子「劔岳に抱かれたかみいち暮らし」が刊行された。巻頭の便利地図（かみいち暮らしお役立ちMAP）に始まり、子育て支援や教育、医療・福祉、住まい、町内のみどころといった、暮らしに必要な情報がコンパクトにまとめられている。



2人乗りカヤックの勇姿



6月17日・18日、上市川第2ダムのカヌー競技場で、早乙女湖カヌー選手権大会および北信越高等学校体育大会が開催されました。地元出身選手が大いに活躍。さらに同競技場では7月27日（木）から4日間、全国中学生カヌー大会が開催。選手への熱い応援をお願いいたします。

早乙女湖で カヌー大会開催



滑川市議会との交流会を7月3日に開催しました。毎年交互に開催し、今年は上市町議会の当番で実施しました。研修会の開催として、株式会社池田模範堂に昨年竣工した第2工場を見学させていただきました。

す。

ステロイドは少量で人体に強い薬効を与える高薬理活性物質であるため、非ステロイド製剤と生産環境を分離し、「封じ込め」を強化する設備を導入されています。生産能力は従来比1.5倍とし、生産余力を確保しているそうです。池田模範堂は「肌を治すチカラ」のスローガンに開発生産を進めて、14年には新しい研究開発棟（ムヒスキンリサーチセンター）を建設し、第2工場の完成によって将来の新商品開発から生産体制まで一貫して強化することができますようにになりました。職員の皆様には、大変お世話になりました。



滑川市議会議員との交流会を開催 研修会に池田模範堂工場見学を実施

視点

— 上市町の保育所・認定こども園の概況 —

今年度民営化した南加積保育園を訪れてお話を伺いました



【上市町の概況】

保育所の現況は

上市町には現在、8つの保育所（保育園）と2つの認定こども園があります。

このうち柿沢保育所と白萩西部保育所が町立です。

上市保育園、上市町三日市保育園、若杉愛児保育園、ニチイ弓庄保育所、音杉保育園、南加積保育園、認定宮川こども園、認定こども園相ノ木保育園が、当初から民営、もしくは町立から公設民営（運営業務を民間法人へ委託）を経て民間法人へ移管といった経緯をとっています。

保育所の歴史は

『新上市町誌』の一節で、上市町内の保育所の変遷を知ることができます。

歴史的には、昭和20年代に各々の地域状況に即して、婦人会や宗教法人

によって設立され、のちに町立や社会福祉法人の運営となった保育所が多いです。また現在上市町に幼稚園はありませんが、南加積保育園は当初幼稚園として設立されています。

公立保育所の民間移管

上市町では国の政策を踏まえ、第3次・第4次の上市町行政改革大綱に基づき計画などにより、保育所の民営化を進めました。

効率的な行財政運営とともに、民間の能力活用を図る目的があります。

公立と民間の違い

保育サービスの基本に差はありません。ただし私立保育所に要する費用や取り組みには一定割合で、国や県の補助を受けることができます。

私立保育所だと法人の独自性も発揮しやすく、多様な保育の必要性に対応できる利点があります。

社会福祉法人光南会・南加積保育園の児玉理事長と廣田園長にお話を伺いました



廣田むつ子園長

— 今年度から民営保育園となりましたね

昨年まで町立の南加積保育所として運営してきました。地元の方々のお力を借り設立した社会福祉法人が運営を引き継いで、2か月あまりです。

— 貴園の保育目標は

「いきいきとした心豊かな子どもをめざして」です。子どもたちの主体性を尊重しています。そして保育の実践の基本

は、公立のときと民間になった現在とで変わる点とがありません。

— 子どもの主体性が鍵なのです

例えば保育園の畑で、サツマイモやカボチャ、キュウリにオクラといった作物を育てています。何を植えるか、といった事柄でも子どもの意志を大切にします。



園庭で行う体操教室

— 理事長自ら指導する体操教室も貴園の特徴です

体操がうまくなる、といった直接的な効果だけでなく、集中力や協調性、友だち関係を育み、子ども

もの心を育てるといった面に注目しています。

— 設備面の不安は

築30年以上になる保育園です。維持管理と適時の補修が求められます。現在プールで、防水シートでの張り替え工事中です。

— 議会としても環境づくりに力を入れてゆきます

ありがとうございます。子どもたちとの信頼関係づくりはもちろん、職員、親御さん、地域の方々との信頼を培ってまいります。



工事中のプール

町民の声 紹介



温もりの会 会長
堀田 徹子さん

私がお願いしたいことは、車いすが足りない時があります。また、押し車の必要な方もおられます。もっと高齢者福祉に目を向けたい。配慮をお願いいたします。



かみいち総合病院入り口で、介助のボランティアをしている会です。毎日24人の会員が交代で来院者のお世話をしています。この活動を始めてから20年を経て、県表彰もいただきました。来院者より「助かるわ」の一言でも活動の励みになります。

飯坂 酒井 治夫さん



「議会に期待することは」「議会広報」と「広報かみいち」を毎号楽しみにし、ファイルして時折開いて勉強しています。「議会広報」が届く様になりました。最近地域の方からの要望を、区長を通してお願いした所早速要望が実現。区長に御礼をいうと、地元議員と交通安全協会の役員の方の連携プレーで、早期に実現したとの事。議会の皆様には、地域の住民が何を求め、何を望んでいるかを敏感に反応し、素早い対応を望みます。

地域、幸福責任者に

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

「声」の募集
町民の声コーナーに、ひと言お寄せいただける方を募集しています。各議員または議会事務局までお知らせください。

会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

アドレスはこちら

町ホームページ「議会会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dbsr.jp/>

議会広報特別委員会

- 委員長 成川 友仁
- 副委員長 伊東 俊治
- 委員 松谷 英真
- 平井 妙子
- 伏黒日出松
- 酒井 桂之

編集後記

2年ぶりに広報委員になり、ブランクを感じました。楽しみに読ませてもらっていましたが今度は作成の側に立ってやらせてもらいます。

副委員長

伊東 俊治

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ <http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>